



No.204 発行元・返還先：(公財) 箕面市国際交流協会

【賛助会員数】個人：277名 法人：22団体 (8月16日現在)

〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター内

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920

E-mail：info@mafga.or.jp Web：https://mafga.or.jp



[2024年度テーマ]



半径5メートルの多文化共生

「わたし」と「地域」と「多文化共生」

【対談】<sup>チエ</sup> 聖子 (コムカフェアドバイザー) × <sup>ソンジヤ</sup> トルガー・エネビシ (コムカフェ担当職員)

2024年度の「めろん」では、「半径5メートルの多文化共生」という年間テーマを設け、協会の中で、あるいは書き手の身近な関係性の中で起こる多文化にまつわる出来事や経験から、読者とともに考えていきたいテーマについて問題提起していく。今回は特別編として、コムカフェのアドバイザーと担当職員の対談のようすをお届けする。司会・聞き手：めろん編集部 (河合、坂口)

**司会 (以下、司)：**今年度のテーマにちなんで…「半径5メートル」のことで、なにか思いつくエピソードはありますか。

**崔：**ずいぶん前、自分が日本に来てすぐのこと。「完璧な日本語を話さない」という思いで、緊張しながら近所の八百屋のおじさんに話しかけた。「おいくらですか」と言いたかったところを「おいくつですか」と言ってしまった。すると、おじさんがにこにこして、ピースサインを作って「僕、はたち！」と言ってくれた。そのとき初めて自分の間違いに気づいたが、その人の雰囲気

にすぐ救われた。日本語を間違っても大丈夫だという安心感があつた。それからその人に安売りの商品を教えてもらったり、いろんな料理の仕方を教えてもらったり、すぐ良くしてもらった。ちょっとしたことだが、日本語があまり話せず、日本の社会の中で不安を感じていた私にとっては、とても勇気づけられた。「半径5メートルの多文化共生」も、こういう小さい体験の積み重ねから始まると思う。

**エネ：**私は留学で日本に来たが、留学生の頃は、ほとんど大学の中での関係性で、地域とも関わるけれども、それも用意されているというか、深く関わらない。大学を出ると、いろんな関係性の中で、それまであまり意識しなかったいろんなことに気がついて、傷つくこともあれば、改めて見直したこともあつた。

**崔：**私も、だんだん日本語が上手になって、日本社会に慣れるにつれ、日本の嫌な面が見えてくるようになった。日本に長く住めば住むほど、「私は外国人なんだ」ということが自分に突き刺さる。これは、日本における外国人の問題というより、日本の社会が問題だと感じる。

**司：**2人の話は共通するようにも聞こえますが、具体的にはどういった感覚ですか。

**エネ：**ひとくちに外国人市民といっても、もっている事情や背景は全く違いますよね。

**崔：**例えば、エネさんと私で言うと、日本の人のモンゴルの人に対してのイメージと韓国の人に対してのイメージが全く違う。また、留学生として日本に来たエネさんと、すぐに地域の中での生活の中に飛び込んだ私との違いもある。

**エネ：**外国人市民に対して周りの人が「ちょっと欠けてる」とか「できないかもしれない」という前提で接するのが見える。「この人日本語もあまりできないだろう」とか。人によって事情や経験はさまざまなのに、「できないのがふつう」という前提とフィルターの中での関係性になってしまうから、そ

こがときどき寂しく感じる。社会的に支援が必要な人、例えば障がい者と健常者の関係にも似ているけど、「この人は自分で何もできない」と思われたり。サポートが必要なときももちろんあるけど、何でもかんでもそういうわけではないし。柔軟性をもっとあってほしいな、と思う。

**崔：**昔は言葉が分からなかったし、考える余裕もなかったので、差別されていても気づかなかった。家を借りるときも、ただ「借りられない」ということしかキャッチできなくて、なぜ借りられないのかわからない。でも、今なら「なぜ借りられないのか」と質問することができる。外国人市民は、こういう理不尽さの中で生きている。

**司：**じゃあ、「八百屋のおじさん」のエピソードの頃は良かったけど、そこから先はずっとしんどい、と。

**崔：**自分の周りの「半径5メートル」に助けてくれる人がいたら傷口は浅いと思う。でも、そういう人がいないと、自分の力だけで解決しないとけない。それはすごくしんどい。

**エネ：**そういう経験をしてきた崔さんがコムカフェのキーパーソンになっていて、出身にかかわらず、人と人との関係をつないでくれている。日本のボランティアの人、ほかの地域から来たシェフも、崔さんに話してみても答えが見つかったり。

**司：**崔さんはみのおキューズモールで開催している「食でつながる このひと、この世界」企画\*でもコーディネーターをしていますね。

**崔：**実は、冒頭の八百屋の話も、最近の「食でつながる」企画で、シェフに日本に対する印象を聞いて、ふと思い出した。

**司：**国際交流の企画に対するひとつの批判として、「外国から来た人にその国の話をしてもらう」ことがどうなのか、「人」の話ではなく、「国」の話になってしまうのではないかと、というものがあるとは思いますが、その点はどうですか。

**崔：**できれば、個人の話をもっとしていきたいが、国や地域の話になったとしても、私はそれを必ずしも悪いこととは思っていない。いろんな入り口から広がっていくこともあるので、全く無関心で興味がないより良いのでは、とらえている。

**エネ：**自然とそれぞれの個人としての話になったりすることもよくある。たとえば、子どもを持つ親として、共通する悩みの話になったり。

**司：**人種や国籍といった属性ではなく、同じ「子をもつ保護者」としての共感を通して話ができるのは良



崔さん



エネビシさん

いことですね。そういえばエネさんは、もともと大学でもコミュニティづくりを研究していましたね。いま、コムカフェ担当となってみて、どうですか。

**エネ:** 研究を生かせる一つの現場と思ってやってきたけど、やっていくうちに、最初の期待や想いからどんどん離れていく面があるし、毎日こなしていくだけで精いっぱいだし、「やってられるか」と思うときもししばしば(笑)。

**崔:** 私は、最初エネさんが来たとき、長く続かないのではと思っていた。でも、今ではコムカフェにとってなくてはならない存在になった。カフェの本質を理

解し、うまくはまった感じがする。

**司:** ふたりのもつ雰囲気は調和して、コムカフェの中でも「食でつながる」企画でも、良い化学変化が起こっているように感じます。日々、チャレンジ続きですが、これからも良い場にしていってください。

\*「食でつながる このひと、この世界」: 年6回、コムカフェシェフを迎えて、食を通して、文化について知るイベント。次回は9/24(火)。※P3参照

コラム

## アートの小箱

Vol. 17

多文化共生社会ってなんなんだ、と問い続け、アートの世界にその糸口を得た野崎ターラー(協会職員・アート活動家)による、不定期コラム。読者のみなさんにも、アートの世界に触れ、共生のヒントを感じてほしい。

### 「空っぽのステージ」



いつも使う駅の、改札を出てすぐのところに、立派な野外ステージがある。その前をしょっちゅう通るが、いまだかつて、演奏やパフォーマンスをしている人を見たことがない。人がいないのは、野外ステージに限らない。ちょっと幅のある階段など、そんなに人通りが多くなく、かつ座りやすそうな階段があっても誰もいない。つつい私は、何度か訪れている父の国インドや半年ほど滞在したロンドン、旅行で訪れたパリなどを思い出す。天気のいい時には、皆こぞって屋外にでて、ありとあらゆるところに座り、しゃべり、軽食をとっていた。少し広い場所があると楽器の演奏をする人や、芸を披露する人がいた。そんな街に魅力を感じた。

この違いは何だろうと興味がわいたので、上に書いた野外ステージの管理施設に問い合わせをしてみた。利用状況は、ときどき地域のお祭りに使われる以外は、ほとんど使われないという。もし利用するとしても、「地域住民の苦情が出ないようにー」や、「迷惑がかからないようにー」と強調された。わかる、それは大事だ。ただ、すべての行動規範を、「迷惑がかからないこと」を最重要事項にしてしまうと、気持ちが縮こまってしまうのは私だけだろうか。

ロンドンやパリでのストリートパフォーマンス事情を調べてみたら、許可やライセンスがいる場合もあるが、フリーでやっていい場合(場所)もあるようだ。どちらにしても、かなり多くの場所でありとあらゆるパフォーマンスをやっている。迷惑がかからないように考慮してはいると思うがそれだけを最重要視していないことは、演者も観客も楽しんでいる様子からわかる。逆に、様々なパフォーマンスが街にあるということが、どんな表現が公共の場において許容されるのか、双方の判断を試されているようにも感じる。このことはアートパフォーマンスに留まることなく、常日頃から、「公共」に対するアンテナを張ることにつながるのではないだろうか。大阪の地方都市である箕面市と海外の大都市では、比較対象としてアンバランスかもしれないが、「街」に対する意識を私たちがどのように持っているのかを考えたいと思う。管理が最優先の今の社会の風潮を私たちは受け入れて行っているのだろうか。



↑デッキの壁に、数メートルおきに貼られている警告文

来る日も来る日も空っぽの野外ステージを見ると、寂しく感じる。自分の街に彩りを与えるために、誰かパフォーマンスをしてくれないだろうか、、、その日を待っている人は、私以外にもいるのだろうか。



↑だれも使わないのもったいないくらい、しっかりとしたウッドデッキ

## 唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で40年の歴史~

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員

\*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Diploma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才~80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

\*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前(駅より30M)  
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



# 国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ





【申込み先】 ☎: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** Web: **mafga.or.jp**

<p><b>募集</b></p> <p>9/7~8 (土・日) 10:30-17:00</p>	<p><b>「チカチカマルシェ」出店者募集</b></p> <p>雑貨、古着、古本などの販売やワークショップをするブース出展者を募集します。駅改札出ですぐの好立地！スペースを思い思いに活用してください。詳細・要項などはQRコードから。</p>	<p>場所: チカノバ 出店料: 3,300円/日 (2日連続は1,100円引) 申込み: QRコードから 問合せ: 072-734-8711</p> 
<p><b>コンサート</b></p> <p>9/14 (土) 14:00-16:00</p>	<p><b>Baroque in 箕面3</b></p> <p>プロのバロック・チェロ奏者による演奏を手軽に楽しめるチャンスです。バロック・チェロ無伴奏リサイタルとしてお届けします。◎中村仁</p>	<p>場所: チカノバ 参加費: 2,500円 (高校生以下1,500円) 定員: 30名 (申込順) 申込み: 072-734-8711</p>
<p><b>お茶会</b></p> <p>9/14 (土) 18:30-20:30</p>	<p><b>チカノバ はじめましてお茶会</b></p> <p>市民ギャラリー「チカノバ」(以下、「チカノバ」)の活用方法を一緒に考えませんか? ワンドリンク付。ざっくばらんに、チカノバ活用のアイデアを話し合しましょう。</p>	<p>場所: チカノバ 参加費: 800円 (ワンドリンク込) 定員: 各6名 (申込順) 申込み: 072-734-8711</p>
<p><b>読書会</b></p> <p>9/15 (日) 14:00-16:00</p>	<p><b>Sunday Book Review</b></p> <p>英語で本を読んでみませんか。1930年代の米国が舞台のE.B. ホワイト著『Charlotte's Web』を読みます。基本的に、毎月第三日曜開催です。</p>	<p>場所: 多文化交流センター 参加費: 300円 (別途、要ドリンク代) 申込み: 072-727-6912</p>
<p><b>キューズリビング</b></p> <p>9/24 (火) ① 10:30- ② 13:30-</p>	<p><b>食でつながる、このひと、この世界</b></p> <p>地域で暮らす外国人市民を講師に迎え、食をテーマに文化や講師の経験を紹介します。今回は、ベトナムの文化をひもときます。◎講師: ナタリヤ ◎コーディネーター: 崔聖子</p>	<p>場所: キューズリビング (みのおキューズモール) 参加費: 550円 (要申込) 定員: 各回5名 申込み: QRコードから</p> 
<p><b>セミナー</b></p> <p>9/28 (土) 13:30-16:00</p>	<p><b>多文化ボランティア・セミナー</b></p> <p>テーマ「子どもたちと紡ぐ共生の未来～自分のルーツを通して伝えたいこと～」について、講師が講演します。また、同日16:00～17:00は新規ボランティア向けの説明会を開催します。◎陳克弥 (箕面市立西南小学校教員)</p>	<p>場所: 多文化交流センター 参加費: 550円 (一般) 無料 (賛助会員) 定員: 40名 申込み: QRコードから</p> 

## 他団体からのお知らせ



問合せ・申込みはそれぞれの団体へお願いします。

<p><b>相談会</b></p> <p>9/21 (土) 11:30 開場 / 12:00 開会</p>	<p><b>わいわい! お住まい相談会</b></p> <p>英語・中国語で、不動産について、相談できます! 今回のテーマは、不動産のよくあるトラブル / 住宅売買賃貸常見矛盾衝突事例 / Common real estate problems です。</p>	<p>場所: comm cafe 参加費: 無料 申込み: QRコードから 問合せ: 072-734-6407 定員: 30名 (事前申込み優先) 主催: センチュリー21 みのおパラ</p> 
<p><b>大阪大学</b></p> <p>10/5 (土) 13:00-16:00 (シンポ) 15:00-19:30 (オクフェス)</p>	<p><b>第2回大阪大学外国語学部・外国学専攻シンポジウム</b></p> <p><b>「物語からことばへ ことばから役割へ」&amp; オクトーバーフェスト</b></p> <p>「物語を紡ぐこと、その物語を翻訳すること」に焦点を当て、ことばの持つ様々な役割について考えます。同日開催のオクトーバーフェスト in 阪大船場では、箕面ビールの販売ほか、comm cafe も出店します! ◎小川洋子 (作家) ◎金水敏 (放送大学大阪学習センター所長) ◎総合司会: 西靖 (毎日放送アナウンサー)</p>	<p>場所: 箕面市立文化芸術劇場および阪大広場 参加費: 無料 申込み: オンラインもしくは往復はがき ※詳細については、QRコードからご確認ください 主催: 大阪大学外国語学部 問合せ: 072-730-5013</p> 

めろん編集部 【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリス、崔聖子、山下三千世、鷲尾則昭  
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター

*coupe de Minami* スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

**町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?**

ボディに布を直接  
のせて服をつくって  
みましょう!  
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42~45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得

昭和45~47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ: 〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151  
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

こちらは、多文化交流センター(小野原)コムカフェのメニューです

# 9月 September comm cafe ランチカレンダー

September comm cafe コム カフェ

《簡易版》

水～土曜

9:30 - 11:30 朝カフェ  
 11:30 - 14:00 日替わりランチタイム (¥990)  
 14:00 - 17:00 午後カフェ

日・祝日

9:30 - 10:00 カフェタイム  
 10:00 - 13:00 世界の朝ごはん (ドリンク付¥770)  
 13:00 - 17:00 カフェタイム



ホームページ



Facebook



Instagram

comm cafe 直通 TEL:072-734-6255 (予約もこちらから！)

月	火	水	木	金	土	日
2	3	4	5	6	7	8
休館日	店休日	山口さん 《中国》	コフさん 《タイ》	MAFGA スナック	チノさん 《タイ》	世界の朝ごはん 《トルコ》
9	10	11	12	13	14	15
休館日	店休日	MAFGA スナック	ヘバさん 《シリア》 HALAL	ルーパさん 《インド》 VEG ラクトベジタリアン	MAFGA スナック	MAFGA スナック
16	17	18	19	20	21	22
MAFGA スナック	店休日	ファルザナさん 《バングラデシュ》 HALAL	ノックさん 《タイ》	MAFGA スナック	わいわい! お住まい相談会 12:00～(P.3参照)	MAFGA スナック
23	24	25	26	27	28	29
MAFGA スナック	店休日	ルーパさん 《インド》 VEG ラクトベジタリアン	ホーさん 《香港》	洪さん 《コリア》	協会主催事業のため、 カフェはお休みです。	MAFGA スナック
30	31	ス… スナック & スウィーツの日 イ… カフェで開催するイベント ● 店内メニューもお持ち帰り可能です。 ● メニューやシェフは変わることもあります。 ● ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、お気軽におたずねください。				



エスペーロ  
能勢  
espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00～17:00

<http://espero-osaka.com/>

※ギャラリー・カフェともに月・火曜定休  
 ギャラリー：10:00～21:00  
 カフェ：11:00～20:30 (日曜は～18:00)  
 水・木・金の14:00～16:00はカフェをクローズします

協定管理：(公財) 箕面市国際交流協会

「フード」×「アート」×「ハート」をテーマに、箕面船場阪大前駅改札すくにおオープン!



ホームページ



Facebook



Instagram

北大阪急行線・箕面船場阪大前駅 改札階(地下3階)  
 (〒562-0035 大阪府箕面市船場東 3-7-35 箕面市立市民ギャラリー)  
 TEL:072-734-8711 (ギャラリー) / 072-734-8722 (カフェ)  
 FAX:072-734-8732 Email:chikanova@mafga.or.jp